



名古屋宣言 - URBIO 2010 (仮訳)

この宣言は第2回「都市における生物多様性とデザイン
URban BIOdiversity and Design」ネットワーク国際会議、
URBIO2010 “都市の生物多様性と生態系ネットワーク”
(2010年5月18日-22日, 名古屋市, 日本)で提出された



1 序言

国際生物多様性年のこの年に、世界で最も都市化が進んだ国の一つでありながら、「里山 Satoyama¹」の経験に示されるような、人と自然との調和した暮らしの伝統を持つ日本で、生物多様性条約(CBD)第10回締約国会議(COP10)が開催されることは誠に時宜を得たものである。

この4年間にわたり、いくつかの生物多様性イニシアティブが、世界が直面している生物多様性に係る課題の解決に、“都市や地方自治体”が欠かせない役割を果たすことを明確にしてきている。生物多様性条約事務局によって運営されている「都市と生物多様性のグローバルパートナーシップ Global Partnership on Cities and Biodiversity」は、解決に向けた努力の重複を避け、そして結びつきを強化するための役割を果たしている。「クリチバ宣言 Curitiba Declarations (2007², 2010³)」、「ボン行動のための呼びかけBonn Call for Action⁴」、CBD締約国会議として初めての「都市や地方自治体に関する決議 Decision on Cities and Local Authorities (決議IX/28: 都市や地方自治体の参画の促進 Promoting engagement of cities and local authorities)⁵」、「エルフルト宣言 Erfurt Declaration URBIO 2008⁶」、そして、「ダーバン誓約 Durban Commitment⁷」などの言質は、CBD締約国と同じく、“都市や地方自治体”が協調して行動していくことの必要性を示している。私たちの惑星の生物多様性の損失速度を緩めるために、都市や地方自治体が共に、そして関連する様々なパートナーとも一緒になって働くことの必要性が訴えられているのだ。都市の生物多様性を測定するための指標を開発することがCOP9で提案され、そしてシンガポールと「都市と生物多様性のグローバルパートナーシップ」との協働によって、CBDによる「都市の生物多様性指標 City Biodiversity Index (CBI)」を確立するための作業が開始された。

COP9の直前に行われたURBIO2008会議で表明した科学者の責務を果たすために、2010年5月、URBIO2010が名古屋で開催された。この会議では、“都市の生物多様性と生態系ネットワーク”が主テーマ、そして、“都市内・周辺のハビタットの質と生態系ネットワーク”および“都市における活動のネットワーク化”の2つがサブテーマであった。都市の生物多様性を保全し、高めていくための道筋に関して発表された340の理論的・実践的成果について、30カ国から参集した460名が検討を行った。その成果は生物多様性を高めるための都市ランドスケープのデザインや、生態系サービスを生み出す実践的活動を強めていくための手法について、科学的な洞察を与えるものとなった。

2 URBIO2010の成果

都市の生態系や生物多様性は、水の調節、大気の質、レクリエーション、健康に関連する限りない利益を都市生活者にもたらしている。都市の生物多様性の保全と向上は、気候変動における緩和と適応、統合的水管理、生態系の回復力や都市生活者にもたらされる他の公的な機能などの環境の持続可能性に寄与する重要な要素に、もっと密接に関連付けられるべきである。

- 都市を構成するパッチ、コリドー、マトリックスを勘案しながら、生態的ネットワークを維持、修復、発展させなければならない。生態的ネットワークは、気候変動に適応していけるよう、そして分断化された都市生態系における生物多様性の保全に寄与するよう、うまくデザインする必要がある。多くの都市にある社寺林や墓地などの残存パッチは、重要な生物多様性資源である。
- 管理手法、修復、生態的デザインは、在来の生物多様性を保全するものであり、また、それに対する脅威を取り除くものでなければならない。例えば「里山 Satoyama」は、自然と調和した生活のあり方や、都市における生物多様性の管理のあり方に示唆を与えるものである。

¹ “里山イニシアティブ”に関するバリ宣言 : <http://satoyama-initiative.org/en/wp-content/uploads/390/Paris-Declaration-EN-26042010.pdf>

² 都市と生物多様性に関するクリチバ宣言 : <http://www.cbd.int/doc/meetings/biodiv/mayors-01/mayors-01-declaration-en.pdf>

³ 第2回都市と生物多様性に関するクリチバ宣言 : <http://www.cbd.int/doc/?meeting=MAYORS-02>

⁴ 都市と生物多様性ボン行動のための呼びかけ :

http://www.iclei.org/fileadmin/template/project_templates/LAB-bonn2008/user_upload/Press/BonnCall_FINAL_29May08.pdf

⁵ COP9 決議 IX/28: 都市や地方自治体の参画促進 : <http://www.cbd.int/doc/decisions/cop-09/cop-09-dec-28-en.pdf>

⁶ エルフルト宣言 URBIO 2008 : http://www.fh-erfurt.de/urbio/httpdocs/content/ErfurtDeclaration_Eng.php

⁷ ダーバン誓約 :

http://www.iclei.org/fileadmin/template/project_templates/localactionbiodiversity/user_upload/LAB_Files/Durban_Commitment_14_Aug2008.pdf

名古屋宣言 - URBIO 2010 (仮訳)

- 生物多様性の定量的な評価手法を確立することが、保全やデザインのあり方を決めて行く上で必須である。
- 生物多様性プロジェクトの成功は、市民と企業との密接な協働なしには成し得ない。
- 環境教育や地域住民の参画は、生物多様性に係る意識を向上させていくための強力なツールとなる。

3 これからの課題

上記成果に基づき、都市の生物多様性の将来に向け、次に示す課題に取り組んでいかなければならない：

- 生態的ネットワークを維持したり機能を向上させたりする上で、都市域のランドスケープを構成するパッチ、コリドー、マトリックスの関係性や相互作用についての理解を深める必要がある。回復力を持つ生態的コリドーの計画やデザインを行うための、理論的・実践的手法を発展させていかなければならない。
- 気候変動における「緩和と適応」と関連付けた、戦略的かつ包括的な都市の生物多様性研究が行われなければならない。
- 都市の生物多様性のモニタリング、管理、修復、デザインを行っていくために、都市の生物多様性に関する比較研究を推進する必要がある。
- 都市の生物多様性が持つ機能的側面を、文化的・精神的な享受も含めた生態系サービスの評価と関連づけながら明らかにしていく必要がある。
- 生物多様性の損失や気候変動に対応するように、生態学的デザインを発展させなければならない。
- 学会、協会、専門調査委員会は、研究成果を都市のデザインに適用していくために、世界や地域のネットワークをサポートし、そして、生態学者、土木技術者、ランドスケープアーキテクト、プランナー、政策立案者、市民の協働によって管理していくしくみの形成に寄与していく必要がある。
- 企業と生物多様性との相互関連性に光をあてるための努力を、今まで以上に行っていく必要がある。
- 専門家は、適切な情報を政策立案者に伝えることに対して、今まで以上に積極的になるべきである。
- 私たちの目標は、政府、地方自治体、資金提供者、関連組織の参画がなければ達成し得ない。

4 総括

COP10 による「都市や地方自治体と生物多様性に関する行動計画 Plan of Action on Cities, Local Authorities and Biodiversity (2011 – 2020)」の採択とその履行は、世界的な生物多様性の損失を止め、そして、すべての都市を緑で覆われた心地良い地とし、繁栄する地としていくための重要なステップとなるだろう。

都市の生物多様性に関する専門家として、私たちはこれからも、“都市と生物多様性”に関する CBD イニシアティブを以下のことをとおして支援していく：

- この会議、そしてこれからの活動をおとす、私たちの知識と責務を共有していく、
- 今後も「都市における生物多様性とデザイン URban BIOdiversity and Design」ネットワークの会議を締約国会議にあわせて開催し、CBD との意見交換を継続的に行い、都市の生物多様性を促進させていく。

第2回「都市における生物多様性とデザイン URban BIOdiversity and Design」ネットワーク国際会議、URBIO2010 “都市の生物多様性と生態系ネットワーク”（5月18日-22日、名古屋市、日本）を代表して、

森本幸裕 (URBIO 2010 共同議長)、井上忠佳 (URBIO 2010 共同議長)、
鎌田磨人 (URBIO 2010 事務局長)、Norbert Müller (URBIO 会長)

2010年5月21日、名古屋市、日本

名古屋宣言 URBIO2010 は次のウェブサイトから取得できる：www.jilac.jp/URBIO2010, www.fh-erfurt.de/URBIO, www.cbd.int

